

エドワード

1 「どうしたの 血のしたたるその刀は

エドワード エドワード

どうしたの 血のしたたるその刀は

なぜそんなに悲しそうにしているの」

「ああ ぼくはあの見事な鷹を殺してしまった

母さん 母さん

ああ ぼくはあの見事な鷹を殺してしまった

たった一羽の鷹を」

2 「鷹の血はそんなに赤くはない

エドワード エドワード

鷹の血はそんなに赤くはない

そうだろう おまえ」

「ああ ぼくはあの葦毛アサギの馬を殺してしまった

母さん 母さん

ああ ぼくはあの葦毛の馬を殺してしまった

あんなに美しく元気な馬を」

3 「あの馬はもう老いぼれ

エドワード エドワード

あの馬はもう老いぼれ ほかにも馬はいる

ほかに悲しいことがあるのでしよう」

「ああ ぼくは父さんを殺してきましたのです

母さん 母さん

ああ ぼくは父さんを殺してきましたのです

ああ なんとということだ」

4 「おまえはどんな罪ほろぼしをするのだい

エドワード エドワード

おまえはどんな罪ほろぼしをするのだい

いっておくれ わたしの息子」

「ぼくはあの舟に乗って行く

母さん 母さん

ぼくはあの舟に乗って行く

海の彼方かなたへ行ってしまうおう」

5 「あのお城の塔や広間はどうするのだい

エドワード エドワード

あのお城の塔や広間はどうするのだい

あんなに立派な塔や広間は」

「くずれるままにしておくさ

母さん 母さん

くずれるままにしておくさ

ぼくはもう二度と帰ってこないのだから」

6 「おまえの子供や嫁はどうするのだい

エドワード エドワード

おまえの子供や嫁はどうするのだい

おまえが海の彼方^{かなた}へ行くのなら」

「世間は広い 死ぬまで乞食をさせるさ

母さん 母さん

世間は広い 死ぬまで乞食をさせるさ

ぼくはもう二度と会わないのだから」

7 「それで この母さんには 何を残しておくれだい

エドワード エドワード

この母さんには 何を残しておくれだい

いっておくれ わたしの息子」

「地獄の呪いを

母さん 母さん

あなたは地獄の呪いを受けなさい

殺せとிட்டのは あなただから」

(薮下卓郎訳)